

# 平成30年度 たつの市まち未来創生戦略推進委員会

日 時：平成31年2月19日（火）  
午前10時～午前11時30分  
場 所：市役所301会議室  
出席者：委員17名、市長、事務局

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 報告事項
  - (1) たつの市の人口の近年の推移について
  - (2) たつの市まち未来創生戦略の検証及び評価について
- 4 協議事項
  - (1) たつの市まち未来創生戦略の一部見直しについて
  - (2) 国の認定を受け進める本市の創生戦略事業について
- 5 その他
- 6 閉会

## －会議要旨－

事務局より、取り組み状況等の説明を行い、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。	
<b>報告事項</b> (1) たつの市の人口の近年の推移について (2) たつの市まち未来創生戦略の検証及び評価について	
委員	推計人口の数値と市内総生産額の数値の引用元はどこか。
事務局	推計人口の数値は、「たつの市人口ビジョン」将来展望人口の現状ベースの数値。市内総生産額については、兵庫県ホームページの「経済統計」情報から引用。
委員	出生率について、目標が2.07人なので、3人目の出産を目指す必要があるが、3人目の子どもを持つには、大きな壁がある。3人目の出産への壁を解消する取り組みを検討していただきたい。
委員長	市としてどういう対応をとっていくか検討されたい。
委員	合計特殊出生率について、伸びている傾向にあるが、出生数は減っており、出産適齢期の人が減っていると考えられる。20代、30代の転出超過の男女別の違いはどれほどか。
事務局	国立社会保障・人口問題研究所の平成30年公表の純移動率の資料データで言うと、本市においては、転出超過数の男女の差はあまりない。しかしながら、他市町では、30代前後の増加が見られる傾向があるが、本市は、その世代の戻りが少ない。その世代への政策が重要であると考えている。

委員	御津地域の市街化区域について、家を建てられる土地については、飽和状態なのかそうでないのか。
事務局	たつの市の面積は全体で約210km <sup>2</sup> 、そのうち、約11.8km <sup>2</sup> が市街化区域である。概ね市街化区域と市街化調整区域の人口は、おおよそ半分ずつくらいである。御津地域では、既存の市街化区域は、住宅や店舗が建ち並んでいる。一方、市街化調整区域では、地域を維持していくための対策が必要と考える。現在、市ではその取り組みの一つとして、特別指定区域制度等の規制緩和を活用した取り組みを行っている。
委員	人口を増やすには、市街化区域を増やし、住居を立てられるようにする方がよいのか、空き家を活用する方がよいのか迷っている部分がある。御津地域でも、市街化区域を増やす動きはあったが、固定資産税の問題などで地権者の同意が得られずに進まなかったことがあった。人口の流出を抑えるため、今後の心づもりとして、御津地域の市街化区域のうち、住宅として既に土地利用をしている面積の割合を教えてもらえたら、地域の方にお示ししていきたい。
委員長	人口流出問題は、御津地域だけの問題ではなく、市全体の課題である。来年度以降、市の課題として取り組んでいただきたい。
委員	和歌山県白浜町のIT企業誘致の事例がある。たつの市にもいいエリアがある。若者の人口減少対策としてIT企業誘致を検討してはどうか。
事務局	IT企業誘致は、狭い土地でも企業誘致ができる有効な取り組みと考える。現在、IT企業誘致は全国的にも広がっており、企業は田舎などの景観の要素に加え、自治体からの補助金等の支援も企業立地や移転を行うことに考慮する要素となっている。状況を踏まえて検討していきたい。
委員長	人口減少については、全国的に同じ課題を持っている。「たつの」の良さを押し出し、人を引き寄せる戦略を打ち出すべきではないか。
事務局	企業誘致、雇用対策は非常に重要である。本市においては、播磨科学公園都市に企業団地があることから、用地取得や建物整備等についての企業誘致助成制度を創設し、5社ほど誘致した事例もある。播磨科学公園都市においては、たつの市の土地は、埋まってきており、取り組みとしては効果があったのではないかと考えられる。
<b>協議事項</b>	
(1) たつの市まち未来創生戦略の一部見直しについて	
委員	PDC Aサイクルの取り組みや子育て世代の取り組みについても国に先立って取り組んでいるところは評価できる。たつの市は夜間の滞在人口が少ない。ビジネスホテルがない。誘致することで飲食店ができたり、まちが活性化するのではないかと。他市町では、ホテル誘致の補助金もあり、今後、夜間滞在を促す取り組みなども検討していただきたい。
委員	たつの市の年間の観光客数はどれくらいか。

事務局	平成29年度は、約221万人である。
委員	主な観光地はどこか。
事務局	主なところで、平成29年度、龍野城で、3万6千人、世界の梅公園で、2万6千人、道の駅みつが、30万人、道の駅しんぐうが、5万人です。
委員	もっと観光については、広域で考える必要があるのではないか。姫路はお城の文化がある。外国人もたくさん来ている。お城つながりで、たつのにもお城があるので、観光客を持って来られないか。ビジネスホテルがいいのか、古民家等の純和風の家泊まりたいのか、たつの市の特性を活かした取り組みを検討することが重要である。また、各数値目標達成には、企業誘致をもっと大胆にする必要があると考える。来年度の事業で、東京圏からのUIJターンの取り組みがあるが、補助だけでは人は来ない。働く場所などが必要になる。
委員	駅から龍野地区までの途中に何も無いのがさみしい。阪神間から、お客さんを呼んでも車がなければ案内できないところが課題である。一方、オータムフェスティバルのように、まちの中に人が溢れ、賑わっている素晴らしい取り組みがあるのでもっとアピールし、たつのの魅力を発信して欲しい。先日、宍粟市が市内の高校2年生を対象に企業説明会をされた。就職を希望する生徒を対象にしていたが、高校2年生全員を対象にしてもいいと思う。高校卒業後、すぐに就職はしなくても、大学等への進学後、地元には、「こんないい企業がある」と思い出し戻ってきてくれるかもしれない。高校生に市内の企業を知ってもらい取り組みも重要であると考えている。
委員	戦略の策定や各取組事業については、アンケート等を取り、それに基づいているのか。
事務局	アンケートは戦略策定時に実施している。また、戦略の策定には、市民の方も関わっていただき一緒に作らせていただいた。
委員	たつのえんむすび事業の廃止を考えているが、結婚支援について問題がないと考えてよいのか。
事務局	婚姻届の受理件数が減少しており、引き続き対策を検討する必要があると考えている。えんむすび事業は市が婚活ツアーなどをしてきたが、民間でも実施している部分もあり、行政として、KPIを達成したからやめるのではなく、次の手を打つための施策を検討していきたいと考える。
委員	資料の説明では、民間の取り組みが充実してきたので、たつの市の結婚施策を取りやめた印象を受ける。民間のどういう取り組みが充実し、結婚の件数が増えてきたので、行政が取り組まなくてもいいという分析が出来ているのか。
事務局	そこまでの精査はできていない。費用対効果優先でスクラップした。現状としては、行政が行うには、マッチングが出来てもその後の追跡などが、プライバシーの問題でやりにくい部分がある。そのような理由で、この事業については見直したが、御指摘いただいているように非常に重要な内容なので、婚活支援

	については、新たな取り組みを精査していきたい。市の方では、婦人会が継続して取り組んでいただく。
委員	婦人会で婚活イベントをやっているが、他団体と実施時期が重なり、参加者が分散してしまうことがあったので、今後は、実施時期について検討していきたい。
委員	婦人会の取り組みに予算を充実させてもいいのではないかな。
事務局	婦人会に引き続き実施していただくので、事業を全廃するわけではない。また、民間でも、例えばお寺で寺婚などのイベントが実施されているなど動きがあり、そういった取り組みを活用したいと考えている。
委員	20代の人口分布のくぼみが気になる。姫新線を使っていると、ビジネスホテルを考える前に、夜間は駅前ですら店がなくて困った経験がある。若い世代はコンビニなど便利な生活に慣れている。今、住んでいる方のために、お店を増やすなど、身近な部分から取り組んでもいいのではないかな。
委員	童謡記念事業について、第1回たつので生まれた童謡歌唱コンクールとあるが、2回目、3回目はあるのか。
事務局	童謡の里龍野文化振興財団の事業であり、継続して取り組んでいくと聞いている。
委員	ビジネスホテルについて、立地予定の話があったと聞いたがどうなったか。
事務局	業者からは、駅周辺かインターチェンジ付近でできないか問い合わせがあった。具体的にどうするか検討している。
委員	新たに取り組むみつ観光PRイベント推進事業について、廃止となる海を楽しむ体験事業に変わり実施されると思うが、御津は、海のイベント、山のイベント、海産物・農産物のイベントなど各セクションごとにイベントを行っている。引き続き海の資源を活用した事業として欲しい。
事務局	事業内容をリニューアルし、地域の方と共に引き続き海を活用した事業を行う予定である。
委員	ホテル誘致については、何のためにホテルを誘致するかということが重要である。ビジネスホテルだと仕事での出張の利用がメインであり、宿泊客は、ホテルの周りに飲食店があるのかなど周りの状況を踏まえて泊まる場所を考える。このあたりだと姫路まで戻った方がよい気がする。たつの場合、オータムフェスティバルやさくら祭等、短期間に多くの人を訪れる。龍野城を含めた城下町は、人気があると思う。空き家を宿泊施設に改造していくという施策も考えられる。まち全体がホテルとして位置づけている事例もある。空き家活用と宿泊施設とをセットで行う取組なども検討できるのではないかな。
事務局	少しずつではあるが、空き家を活用した取り組みの動きも出てきており、支援を検討していきたい。
委員	保育士等確保事業はどのようなことをするのか。

事務局	潜在保育士等に市内の保育所などを見学するバスツアーに参加してもらい、市内で働く保育士等の人材確保につなげる事業である。
委員	市内の保育所が、他の市町の保育所と違う特色があるのであれば意味があると思う。たつの市の特色はあるのか。
委員	ハローワークでも見学ツアーをやっている。市内の保育所が特別に特色があるわけではないが、5～6人の参加もあり、1、2人が就職される。見学することで、保育所の雰囲気がかかったり園長先生の教育方針が聞けたりするので効果もあると考えられる。
事務局	新しく園の改築工事をしているので、そちらを見ていただくこともインセンティブになると考えている。

## 協議事項

### (2) 国の認定を受け進める本市の創生戦略事業について

	(意見無し)
委員長	プロジェクトが良ければ、人もお金も後からついてくる。行政として、全体的に心配りをしないといけない部分もあるが、大胆なメリハリをつけた取り組みも重要である。
市長	貴重な御意見をいただきありがとうございました。地方創生について職員と一緒に取り組む、人口減少に立ち向かっていきたい。商工会議所や商工会の青年部など若い世代の方の考えを聞かせていただき、若者がどうしたら定住してくれるかなど、自ら出向いて相談させていただいている。今回の新規事業も、そのような意見から作らせていただいたものもあります。本日、お聞かせいただいた皆さんの御意見を参考にさせていただき、一人でも多くの方に、たつの市を好きになってもらい、たつの市に住んでもらえるようにしていきたいと考えておりますので、今後とも御意見をいただきたいと思います。本日は、ありがとうございました。
委員長	議事の進行について、御協力いただきありがとうございました。戦略の改定については、委員長と事務局で調整し、委員の皆さんの意見を反映した形で修正し提示します。